

【経歴】

牧 勝則（まき かつのり）



- 1953年 北海道に生まれる
- 1972年 北見柏陽高等学校卒
- 1972年 東京四ツ谷のカスタムテーラーに入社
5年間の縫製修行を終える
- 1977年 （株）カスタムハウス入社
石川 群一氏に師事 デザイン、パターンを学ぶ
- 1980年 イタリア ピッティイマジネウオモ視察
- 1983年 イタリア GFT社と日本のアパレルメーカーとのブランド、ノウハウ移転
に際しGFT社に認められプロフィールブランドの担当デザイナーとして
ブランドコントロールを行う
石川群一のアシスタントとして国内外の縫製工場の設立、指導、アパレル
へ向けての企画、パターンの活動を行う
- 1993年 独立
- 1996年 [IACDE](#)（国際衣服デザイナー協会）日本支部入会 ※注
（有）マキ・モデリストオフィス設立
- 1996年 IACDEミラノ国際大会に参加
本部デザイナー会員として審査認められる
- 2000年 中国北京事務所開設
- 2003年～2007年 IACDE日本支部会長
- 2008年～2009年 IACDE本部会長就任

アパレル、小売りへ向けての企画、パターンの供与、国内外の縫製工場の設立、指導などの活動、コンサルタント業務を継続。現在に至る。

【教育活動】 文化服装学院特別講師、オメロピットクラブ主催

【著書】 エレガンツァ ナポリ

【受賞】 2006年7月 テーラードスポーツウェア（レディス）とフォーマルウェア（メンズ）部門
でIDA賞をダブル受賞

※注 弊社社員5名在籍（業務委託者1名含む）

【 弊社との取り組み 】

1980年に初めてイタリアフィレンツェで開催のメンズ最大の展示会ピッティイマジネウオモを視察、その後年2回開催されるこの展示会に40年間通い、紳士服の傾向、1000社が一堂に会する展示会の移り変わりなどを記録、次シーズンへ向けての見本を作り、提案活動を続ける。

また1910年にアメリカニューヨークで設立されたIACDEの1996年ミラノ国際大会に参加し

本部会員となり、毎年様々な国で行われる国際大会に参加、各国の会員との交流、

アパレル（工場）の視察を重ねる。

アメリカ、カナダの大会ではニューヨークの視察を組み入れ、マーケット、小売りの事情をリサーチする。

イタリア大会では訪問先のアパレル（工場）のレベルの高さを確認、モノづくり、指導先への参考とする。

イタリアのモノづくり、アメリカの小売り事情と変化をセミナー形式で発信したのが取り組みの始まりで、2011年より定期的に情報の供与、見本制作を通して素材、スタイル、仕様 その他の提案を続け、現在に至る。